

ダイワ豪ドル建て 高利回り証券α (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第63期(決算日 2019年11月18日)
第64期(決算日 2019年12月17日)
第65期(決算日 2020年1月17日)
第66期(決算日 2020年2月17日)
第67期(決算日 2020年3月17日)
第68期(決算日 2020年4月17日)

(作成対象期間 2019年10月18日～2020年4月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資するとともに、オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	10年4カ月間(2014年6月18日～2024年10月17日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド(通貨αクラス)」の受益証券(円建) ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 分	み 金 騰 落	中 率			
	円	円		%	%	%	百万円
39期末（2017年11月17日）	6,584	80	△	1.6	—	99.0	9,433
40期末（2017年12月18日）	6,552	60		0.4	—	98.4	9,134
41期末（2018年1月17日）	6,608	60		1.8	—	98.4	8,998
42期末（2018年2月19日）	6,266	60	△	4.3	—	99.5	8,335
43期末（2018年3月19日）	6,108	60	△	1.6	—	98.8	8,013
44期末（2018年4月17日）	6,145	60		1.6	—	98.3	7,992
45期末（2018年5月17日）	6,070	60	△	0.2	—	98.6	7,749
46期末（2018年6月18日）	6,031	60		0.3	—	98.7	7,531
47期末（2018年7月17日）	6,059	60		1.5	—	99.1	7,455
48期末（2018年8月17日）	5,877	60	△	2.0	—	98.6	7,186
49期末（2018年9月18日）	5,884	60		1.1	—	98.4	7,052
50期末（2018年10月17日）	5,811	60	△	0.2	—	98.7	6,857
51期末（2018年11月19日）	5,868	60		2.0	—	99.0	6,780
52期末（2018年12月17日）	5,740	60	△	1.2	—	99.0	6,528
53期末（2019年1月17日）	5,492	60	△	3.3	—	99.3	6,178
54期末（2019年2月18日）	5,546	40		1.7	—	99.3	6,168
55期末（2019年3月18日）	5,572	40		1.2	—	98.8	6,035
56期末（2019年4月17日）	5,632	40		1.8	—	99.1	6,012
57期末（2019年5月17日）	5,366	40	△	4.0	—	98.9	5,663
58期末（2019年6月17日）	5,292	40	△	0.6	—	98.7	5,406
59期末（2019年7月17日）	5,398	40		2.8	—	98.9	5,362
60期末（2019年8月19日）	5,130	40	△	4.2	—	99.0	5,016
61期末（2019年9月17日）	5,183	40		1.8	—	98.1	4,915
62期末（2019年10月17日）	5,149	40		0.1	—	98.7	4,711
63期末（2019年11月18日）	5,130	40		0.4	—	98.4	4,630
64期末（2019年12月17日）	5,165	40		1.5	—	99.2	4,601
65期末（2020年1月17日）	5,159	40		0.7	—	99.3	4,571
66期末（2020年2月17日）	5,057	30	△	1.4	—	98.9	4,408
67期末（2020年3月17日）	4,230	30	△	15.8	—	98.1	3,628
68期末（2020年4月17日）	4,280	30		1.9	—	99.4	3,592

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

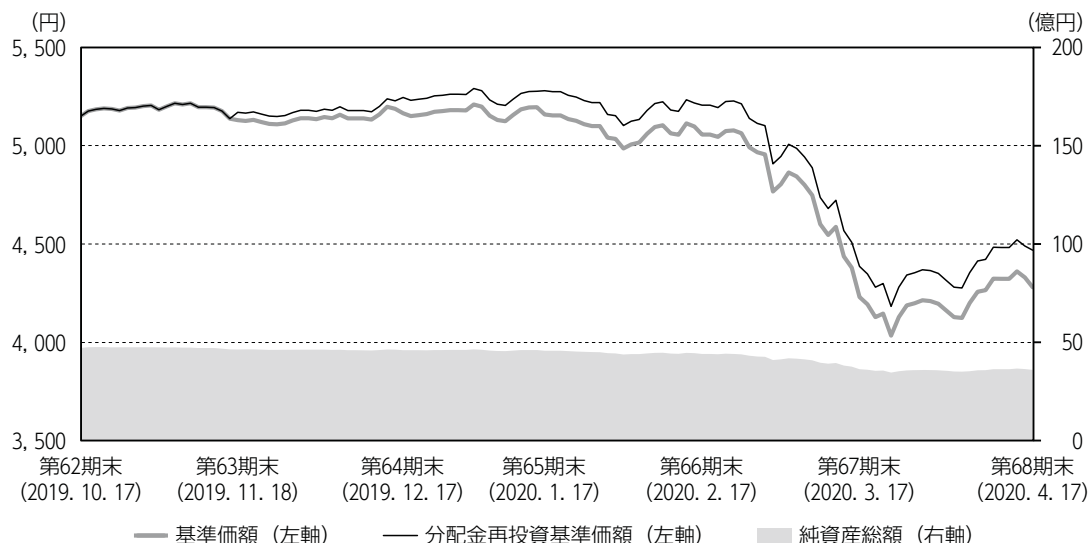
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第63期首：5,149円

第68期末：4,280円（既払分配金210円）

騰落率：△13.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

通貨オプションのプレミアム収入などは基準価額の上昇要因となりましたが、豪ドル建ての普通社債およびハイブリッド証券が軟調な動きとなったことや豪ドルが対円で下落（円高）したことが基準価額の下落要因となり、当ファンドの基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率
			騰 落 率		
第63期	(期 首) 2019年10月17日	円 5,149	% —	% —	% 98.7
	10月末	5,205	1.1	—	99.1
	(期 末) 2019年11月18日	5,170	0.4	—	98.4
第64期	(期 首) 2019年11月18日	5,130	—	—	98.4
	11月末	5,140	0.2	—	98.8
	(期 末) 2019年12月17日	5,205	1.5	—	99.2
第65期	(期 首) 2019年12月17日	5,165	—	—	99.2
	12月末	5,210	0.9	—	98.1
	(期 末) 2020年 1 月17日	5,199	0.7	—	99.3
第66期	(期 首) 2020年 1 月17日	5,159	—	—	99.3
	1 月末	4,986	△ 3.4	—	98.9
	(期 末) 2020年 2 月17日	5,087	△ 1.4	—	98.9
第67期	(期 首) 2020年 2 月17日	5,057	—	—	98.9
	2 月末	4,956	△ 2.0	—	98.9
	(期 末) 2020年 3 月17日	4,260	△ 15.8	—	98.1
第68期	(期 首) 2020年 3 月17日	4,230	—	—	98.1
	3 月末	4,210	△ 0.5	—	98.8
	(期 末) 2020年 4 月17日	4,310	1.9	—	99.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 10. 18 ～ 2020. 4. 17）

■オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より、米中通商協議の進展期待が高まる中、金利は上昇基調で推移しました。しかし2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などからリスク回避的な動きが強まり、金利は低下しました。3月中旬にRBA（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を史上最低の0.25%に引き下げるとともに国債の購入を通じて量的金融緩和を開始することを発表したほか、イーールド・カーブ・コントロール（長短金利操作）の導入などを発表しました。しかし、市場の期待に届かなかったこともあり金利は急上昇しました。その後は、RBAを含めた世界各国の中央銀行が国債を買い入れる中で金利は低下に転じました。

豪ドル建ての普通社債およびハイブリッド証券は、当作成期首よりおおむね堅調に推移したものの、2020年2月後半以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念からリスク回避的な動きが強まり、軟調に推移しました。経済的な危機を乗り切るために発行体は財務レバレッジの削減にフォーカスしたことから、社債等の新規発行は減少しました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首より、米中通商協議の進展期待が高まる中で市場のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは対円で上昇しました。一方で2020年1月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などからリスク回避的な動きが強まる中で円が買われ、豪ドルは下落しました。3月後半以降は、世界的な経済対策への期待感から、豪ドルは対円で上昇に転じました。

■通貨オプション市況

通貨オプションのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。

当作成期首から2019年12月末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退したことから市場の警戒感が和らぎ、ボラティリティは低下しました。しかしその後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から、豪ドルが対円で下落するなど市場の警戒感が高まったことで、ボラティリティは上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドは、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資し、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することをめざします。

※ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

普通社債とハイブリッド証券の起債については、今後も一定程度の募集がある状況が継続するとみています。引き続き、新規発行および流通市場の状況を注視しながら、特にリスク対比で高い利回りを提供するハイブリッド証券の発掘に注力します。

通貨カバードコール戦略については、保有する豪ドル建資産の評価額の50%程度のコール・オプションを売却することで、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 10. 18 ～ 2020. 4. 17）

■当ファンド

当ファンドは、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本としました。

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

豪ドル建ての普通社債およびハイブリッド証券等への投資により、高利回りの獲得をめざすとともに、通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略の構築により、オプションプレミアムの確保をめざして運用を行いました。円に対する豪ドルのコール・オプションのカバー率は、

保有する豪ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
	2019年10月18日 ～2019年11月18日	2019年11月19日 ～2019年12月17日	2019年12月18日 ～2020年1月17日	2020年1月18日 ～2020年2月17日	2020年2月18日 ～2020年3月17日	2020年3月18日 ～2020年4月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.77	0.77	0.77	0.59	0.70	0.70
当期の収益 (円)	35	38	35	30	30	30
当期の収益以外 (円)	4	1	4	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	59	57	53	59	63	70

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 35.80円	✓ 38.55円	✓ 35.42円	✓ 35.86円	✓ 34.48円	✓ 36.34円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	35.08	35.13	35.19	35.24	35.29	35.35
(d) 分配準備積立金	✓ 28.55	✓ 24.29	✓ 22.79	18.18	23.99	28.41
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	99.43	97.99	93.42	89.28	93.76	100.11
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	59.43	57.99	53.42	59.28	63.76	70.11

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資し、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することをめざします。

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）

流通市場で割安に評価されている証券を発掘するとともに、新規証券の発行市場でも銘柄選択を行います。引き続き、流通市場および新規発行の状況を注視しながら、特にリスク対比で高い利回りを提供するハイブリッド証券の発掘に注力します。

通貨カバードコール戦略については、保有する豪ドル建資産の評価額の50%程度のコール・オプションを売却することで、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第63期～第68期 (2019. 10. 18～2020. 4. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0. 593%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4, 931円です。
（投 信 会 社）	(8)	(0. 165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(20)	(0. 412)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 012	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0. 012)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	30	0. 608	

（注 1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注 2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

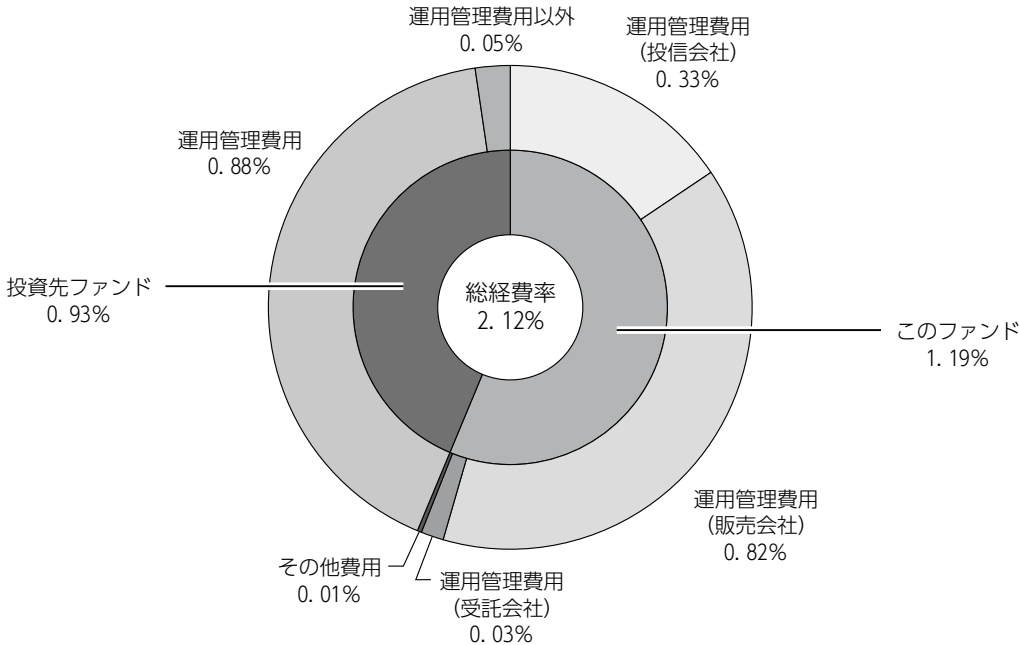
（注 3）各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

（注 4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.12%
①このファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.88%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

（注 1）①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注 2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注 3）各比率は、年率換算した値です。
（注 4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注 5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注 6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注 7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年10月18日から2020年 4月17日まで)

決 算 期	第 63 期 ～ 第 68 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国（邦貨建）	千口 4,318,06679	千円 212,641	千口 10,852,70901	千円 539,460

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年10月18日から2020年 4月17日まで)

第 63 期 ～ 第 68 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				DAIWA AUSTRALIAN HIGH INCOME SECURITIES FUND (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	10,852,70901	539,460	49

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 68 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AUSTRALIAN HIGH INCOME SECURITIES FUND (CURRENCY ALPHA CLASS)	千口 82,756,0135	千円 3,569,432	% 99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第62期末	第 68 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年 4月17日現在

項 目	第 68 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,569,432	% 98.5
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	55,480	1.5
投資信託財産総額	3,624,922	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年11月18日）、（2019年12月17日）、（2020年1月17日）、（2020年2月17日）、（2020年3月17日）、（2020年4月17日）現在

項 目	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末
(A) 資産	4,689,213,185円	4,648,465,897円	4,620,321,802円	4,441,952,964円	3,665,655,736円	3,624,922,727円
コール・ローン等	133,921,964	82,355,243	78,746,639	80,175,436	105,430,581	55,480,377
投資信託受益証券（評価額）	4,555,281,243	4,566,100,677	4,541,565,186	4,361,767,552	3,560,215,179	3,569,432,374
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	9,978	9,977	9,977	9,976	9,976	9,976
(B) 負債	58,813,730	47,078,299	48,867,139	33,635,440	37,598,422	32,194,411
未払収益分配金	36,102,320	35,636,878	35,441,604	26,151,549	25,732,807	25,180,068
未払解約金	17,769,200	7,031,967	8,695,003	2,855,416	7,780,495	3,229,076
未払信託報酬	4,907,656	4,345,233	4,634,145	4,500,845	3,930,214	3,605,340
その他未払費用	34,554	64,221	96,387	127,630	154,906	179,927
(C) 純資産総額（A－B）	4,630,399,455	4,601,387,598	4,571,454,663	4,408,317,524	3,628,057,314	3,592,728,316
元本	9,025,580,184	8,909,219,651	8,860,401,018	8,717,183,271	8,577,602,420	8,393,356,069
次期繰越損益金	△ 4,395,180,729	△ 4,307,832,053	△ 4,288,946,355	△ 4,308,865,747	△ 4,949,545,106	△ 4,800,627,753
(D) 受益権総口数	9,025,580,184口	8,909,219,651口	8,860,401,018口	8,717,183,271口	8,577,602,420口	8,393,356,069口
1万円当り基準価額（C／D）	5,130円	5,165円	5,159円	5,057円	4,230円	4,280円

* 第62期末における元本額は9,150,554,477円、当作成期間（第63期～第68期）中における追加設定元本額は124,882,607円、同解約元本額は882,081,015円です。

* 第68期末の計算口数当りの純資産額は4,280円です。

* 第68期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,800,627,753円です。

■損益の状況

第63期	自2019年10月18日	至2019年11月18日	第65期	自2019年12月18日	至2020年1月17日	第67期	自2020年2月18日	至2020年3月17日
第64期	自2019年11月19日	至2019年12月17日	第66期	自2020年1月18日	至2020年2月17日	第68期	自2020年3月18日	至2020年4月17日
項 目	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期		
(A) 配当等収益	37,257,531円	36,616,922円	36,056,376円	35,794,044円	33,534,207円	32,142,510円		
受取配当金	37,260,382	36,619,211	36,061,454	35,795,468	33,536,314	32,144,749		
受取利息	50	150	51	233	2	124		
支払利息	△ 2,901	△ 2,439	△ 5,129	△ 1,657	△ 2,109	△ 2,363		
(B) 有価証券売買損益	△ 12,791,116	34,080,221	△ 677,807	△ 94,346,185	△ 713,499,027	39,275,064		
売買益	365,437	34,229,897	117,558	1,445,370	1,986,599	41,392,759		
売買損	△ 13,156,553	△ 149,676	△ 795,365	△ 95,791,555	△ 715,485,626	△ 2,117,695		
(C) 信託報酬等	△ 4,942,210	△ 4,375,390	△ 4,666,311	△ 4,532,088	△ 3,957,490	△ 3,630,502		
(D) 当期損益金 (A + B + C)	19,524,205	66,321,753	30,712,258	△ 63,084,229	△ 683,922,310	67,787,072		
(E) 前期繰越損益金	△ 3,712,069,842	△ 3,671,936,112	△ 3,611,946,534	△ 3,549,655,278	△ 3,573,646,316	△ 4,181,492,512		
(F) 追加信託差損益金	△ 666,532,772	△ 666,580,816	△ 672,270,475	△ 669,974,691	△ 666,243,673	△ 661,742,245		
(配当等相当額)	(31,662,063)	(31,305,035)	(31,187,096)	(30,722,387)	(30,270,889)	(29,676,910)		
(売買損益相当額)	(△ 698,194,835)	(△ 697,885,851)	(△ 703,457,571)	(△ 700,697,078)	(△ 696,514,562)	(△ 691,419,155)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,359,078,409	△ 4,272,195,175	△ 4,253,504,751	△ 4,282,714,198	△ 4,923,812,299	△ 4,775,447,685		
(H) 収益分配金	△ 36,102,320	△ 35,636,878	△ 35,441,604	△ 26,151,549	△ 25,732,807	△ 25,180,068		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,395,180,729	△ 4,307,832,053	△ 4,288,946,355	△ 4,308,865,747	△ 4,949,545,106	△ 4,800,627,753		
追加信託差損益金	△ 666,532,772	△ 666,580,816	△ 672,270,475	△ 669,974,691	△ 666,243,673	△ 661,742,245		
(配当等相当額)	(31,662,063)	(31,305,035)	(31,187,096)	(30,722,387)	(30,270,889)	(29,676,910)		
(売買損益相当額)	(△ 698,194,835)	(△ 697,885,851)	(△ 703,457,571)	(△ 700,697,078)	(△ 696,514,562)	(△ 691,419,155)		
分配準備積立金	21,983,092	20,362,765	16,147,348	20,958,528	24,426,655	29,174,415		
繰越損益金	△ 3,750,631,049	△ 3,661,614,002	△ 3,632,823,228	△ 3,659,849,584	△ 4,307,728,088	△ 4,168,059,923		

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
(a) 経費控除後の配当等収益	32,315,321円	34,350,908円	31,390,065円	31,261,956円	29,576,717円	30,508,421円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	31,662,063	31,305,035	31,187,096	30,722,387	30,270,889	29,676,910
(d) 分配準備積立金	25,770,091	21,648,735	20,198,887	15,848,121	20,582,745	23,846,062
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	89,747,475	87,304,678	82,776,048	77,832,464	80,430,351	84,031,393
(f) 分配金	36,102,320	35,636,878	35,441,604	26,151,549	25,732,807	25,180,068
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	53,645,155	51,667,800	47,334,444	51,680,915	54,697,544	58,851,325
(h) 受益権総口数	9,025,580,184□	8,909,219,651□	8,860,401,018□	8,717,183,271□	8,577,602,420□	8,393,356,069□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
	40円	40円	40円	30円	30円	30円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

**ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ・オーストラリア・
ハインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）**

当ファンド（ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ・オーストラリア・ハインカム・セキュリティーズ・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券に投資しております。以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年4月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（豪ドル建て）

貸借対照表
2019年3月29日

資産

投資資産の評価額（簿価 \$122, 482, 038）	\$ 139, 335, 860
現金	2, 747, 014
外国為替先渡契約による評価益	55
未収：	
売却済みの投資	580, 756
配当	69, 712
利息	701, 816
カウンターパーティへの預託金	270, 000
その他資産	459
資産合計	143, 705, 672

負債

売建てオプションの評価額（受取プレミアム \$451, 254）	320, 823
未払：	
購入済みの投資	22, 599
専門家報酬	79, 745
運用会社報酬	79, 191
保管会社報酬	16, 302
会計および管理会社報酬	15, 185
為替運用会社報酬	6, 470

名義書換代理人報酬		3, 140
登録料		1, 947
負債合計		545, 402
純資産	\$	143, 160, 270
純資産		
クラス A	\$	67, 239, 077
通貨αクラス		75, 921, 193
	\$	143, 160, 270
発行済み受益証券口数		
クラス A		56, 111, 784
通貨αクラス		105, 726, 707
受益証券 1 口当り純資産額		
クラス A	\$	1. 198
通貨αクラス	\$	0. 718

損益計算書

2019年 3月29日に終了した年度

投資収益

受取利息（源泉税 \$61,789 控除後）	\$	3,919,063
配当収益（源泉税 \$33,833 控除後）		801,889
その他収益		7,585
投資収益合計		4,728,537

費用

運用会社報酬		1,033,415
会計および管理会社報酬		95,196
為替運用会社報酬		85,054
保管会社報酬		84,545
専門家報酬		78,003
受託会社報酬		35,425
名義書換代理人報酬		21,315
登録料		3,304
その他費用		259
費用合計		1,436,516

投資純利益

3,292,021

実現益（損）および評価益（損）：

実現益（損失）：

証券投資		9,650,758
売建オプション		1,838,516
外国為替取引および外国為替先渡契約		(27,032)

純実現利益

11,462,242

評価益（損）の純変動：

証券投資		(3,174,163)
売建オプション		(237,437)
外国為替換算および外国為替先渡契約		(1,663)

評価損の純変動

(3,413,263)

純実現益（損）および評価益（損）の純変動

8,048,979

運用による純資産の純増

\$ 11,341,000

投資明細表
2019年3月29日

元本	証券の明細	評価額
	債券 (84.4%)	
	オーストラリア (82.8%)	
	社債 (82.8%)	
AUD 1,250,000	AAI, Ltd. (a), (b) 4.92% due 2042/10/6	\$ 1,305,909
AUD 5,000,000	AGL Energy, Ltd. (a) 5.00% due 2021/11/5	5,246,905
AUD 5,000,000	Ale Direct Property Trust (a) 4.00% due 2022/8/20	5,127,380
AUD 5,000,000	Alumina, Ltd. (a) 5.50% due 2019/11/19	5,056,705
AUD 1,500,000	AMP, Ltd. (a), (b) 4.72% due 2028/11/15	1,497,222
AUD 5,000,000	5.87% (c) Aurizon Network Pty, Ltd. (a)	4,998,380
AUD 940,000	4.00% due 2024/6/21 Australia & New Zealand Banking Group, Ltd. (b)	971,913
AUD 3,000,000	2.91% due 2023/12/6 Australian Unity, Ltd. (b)	3,017,664
AUD 45,406	4.86% due 2020/12/15 Bank of Queensland, Ltd. (a), (b), (c)	4,654,569
AUD 1,500,000	6.47% Bendigo & Adelaide Bank, Ltd. (a), (b)	1,518,047
AUD 2,000,000	4.32% due 2028/11/30 Challenger Life Co., Ltd. (a), (b)	2,032,160
AUD 3,000,000	3.99% due 2042/11/24 Commonwealth Bank of Australia (b)	3,007,596
AUD 3,500,000	3.19% due 2024/1/11 Crown Resorts, Ltd. (a), (b)	3,534,643
AUD 89,958	5.85% due 2075/4/23 Downer Group Finance Pty, Ltd. (a)	9,173,017
AUD 3,000,000	4.50% due 2022/3/11 IMF Bentham, Ltd. (a), (b)	3,126,000
AUD 2,000,000	5.97% due 2022/12/22 Incitec Pivot, Ltd. (a)	2,002,000
AUD 2,000,000	4.30% due 2026/3/18 Insurance Australia Group, Ltd. (a), (b)	2,033,002
AUD 1,500,000	3.94% due 2044/6/15	1,501,628

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

	元本	証券の明細	評価額
AUD	1,000,000	4.13% due 2045/6/15 Macquarie Bank, Ltd. (a), (b), (c)	1,002,761
AUD	4,818	5.17% Macquarie Finance, Ltd. (a), (b), (c)	489,268
AUD	128,538	3.76% Macquarie Group, Ltd. (a), (b), (c)	11,221,367
AUD	5,190	5.84% National Australia Bank, Ltd. (a), (b), (c)	535,089
AUD	145,283	3.22% NEXTDC, Ltd. (a)	12,990,334
AUD	2,500,000	5.61% due 2022/6/9 (b)	2,505,475
AUD	500,000	6.00% due 2022/6/9	507,290
AUD	2,000,000	6.25% due 2021/6/9 PACCAR Financial Pty, Ltd. (a)	2,030,894
AUD	2,000,000	3.00% due 2022/9/13 Pacific National Finance Pty, Ltd.	2,042,984
AUD	750,000	5.25% due 2025/5/19 Peet, Ltd. (b)	814,595
AUD	20,000	6.71% due 2022/10/5 Qube Holdings, Ltd. (b)	2,020,000
AUD	20,000	5.96% due 2023/10/5 SEEK, Ltd. (b)	2,140,000
AUD	5,000,000	4.37% due 2022/4/28 Suncorp Group, Ltd. (a), (b)	5,038,540
AUD	3,500,000	4.03% due 2028/12/5 Suncorp-Metway, Ltd. (a), (b), (c)	3,529,064
AUD	33,991	2.72% Teachers Mutual Bank, Ltd. (b)	2,729,239
AUD	2,000,000	3.14% due 2021/7/2 Virgin Australia Holdings, Ltd.	2,004,766
AUD	2,000,000	8.25% due 2023/5/30 Westpac Banking Corp. (b)	2,059,648
AUD	4,000,000	2.71% due 2023/3/6	4,005,228
AUD	1,000,000	3.61% due 2028/6/22 (a)	994,830
		社債合計	118,466,112
		オーストラリア合計（簿価 \$102,655,399）	118,466,112

元本		証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
AUD	27,335	ニュージーランド (1.6%)		
		社債 (1.6%)		
		Nufarm Finance NZ, Ltd. (a), (b), (c)		
		6.00%		2,338,509
		社債合計		2,338,509
		ニュージーランド合計 (簿価 \$2,194,099)		2,338,509
		債券合計 (簿価 \$104,849,498)		120,804,621
		株数		
		優先株式 (10.6%)		
		オーストラリア (10.6%)		
		銀行 (6.5%)		
		38,504 Commonwealth Bank of Australia (a), (b)		3,759,916
		15,508 Commonwealth Bank of Australia/New Zealand (a), (b)		1,578,404
		2,000,000 Members Equity Bank, Ltd. (a), (b)		2,044,940
		20,000 Westpac Banking Corp. (a), (b)		2,003,800
				9,387,060
		保険 (0.6%)		
		7,859 AMP, Ltd. (a), (b)		818,515
		不動産投資信託 (REIT) (3.5%)		
		52,692 Multiplex SITES Trust (a), (b)		4,989,932
		オーストラリア合計 (簿価 \$14,295,655)		15,195,507
		優先株式合計 (簿価 \$14,295,655)		15,195,507
		口数		
		MMF (2.3%)		
		オーストラリア (2.3%)		
		3,333,809 Yarra A\$ Cash Reserves Fund Class A		3,335,732
		オーストラリア合計		3,335,732
		MMF 合計 (簿価 \$3,336,885)		3,335,732
		投資総額 (簿価 \$122,482,038)	97.3%	\$ 139,335,860
		負債を超過する現金およびその他の資産	2.7	3,824,410
純資産		100.0%	\$ 143,160,270	

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最善の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

(a) 償還条項付き証券

(b) 2019年3月29日時点の変動利付証券

(c) 永久債

ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）

2019年3月29日現在の通貨αクラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.0%）：

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / （損）
AUD	Citibank N. A.	227,233	2019/4/1	JPY	17,861,900	\$ 55	\$ —	\$ 55
						\$ 55	\$ —	\$ 55

2019年3月29日現在の通貨αクラスの売建オプション残高（純資産の-0.2%）：

取引内容	行使価格	満期日	想定元本	受取プレミアム	評価額
Call - Japanese Yen vs. Australian Dollar	\$ 79.05	2019/4/12	¥ 10,000,000	\$ (115,392)	\$ (41,099)
Call - Japanese Yen vs. Australian Dollar	78.55	2019/4/12	9,000,000	(91,164)	(63,992)
Call - Japanese Yen vs. Australian Dollar	78.56	2019/5/10	19,000,000	(244,698)	(215,732)
				\$ (451,254)	\$ (320,823)

通貨の略称：	
AUD	豪ドル
JPY	日本円

<補足情報>

当ファンド（ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第68期の決算日（2020年4月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年10月18日～2020年4月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年4月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

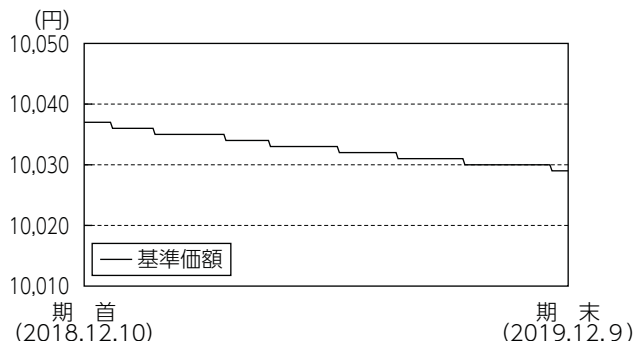
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期首)2018年12月10日	円 10,037	% -	% -
12月末	10,037	0.0	-
2019年 1 月末	10,036	△0.0	-
2 月末	10,035	△0.0	-
3 月末	10,034	△0.0	-
4 月末	10,034	△0.0	-
5 月末	10,033	△0.0	-
6 月末	10,032	△0.0	-
7 月末	10,032	△0.0	-
8 月末	10,031	△0.1	-
9 月末	10,030	△0.1	-
10月末	10,030	△0.1	-
11月末	10,029	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,029	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,029円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	2 (2)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 330,004	千円 - (330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円 330,004		千円	
801 国庫短期証券 2019/3/18			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	38,397,784	100.0
投資信託財産総額	38,397,784	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	38,397,784,417円
コール・ローン等	38,397,784,417
(B) 負債	231,026
その他未払費用	231,026
(C) 純資産総額(A－B)	38,397,553,391
元本	38,285,006,118
次期繰越損益金	112,547,273
(D) 受益権総口数	38,285,006,118口
1万口当り基準価額(C／D)	10,029円

* 期首における元本額は69,103,393,644円、当作成期間中における追加設定元本額は48,176,499,313円、同解約元本額は78,994,886,839円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）5,951,591,455円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）17,806,836,243円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、ダイワJリートベア・ファンド（適格機関投資家専用）965,948,988円、通貨選択型米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）3,421,817,396円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）963,651,156円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）1,531,319,164円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド5,408,343円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOPIXベア・ファンド（適格機関投資家専用）7,635,801,481円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－USTライアングル－997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,029円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 33,300,262円
受取利息	347,877
支払利息	△ 33,648,139
(B) その他費用	△ 13,012,117
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 46,312,379
(D) 前期繰越損益金	255,922,474
(E) 解約差損益金	△260,877,509
(F) 追加信託差損益金	163,814,687
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	112,547,273
次期繰越損益金(G)	112,547,273

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。